長崎本線の利便性確保・利用について

令和４年秋に、西九州新幹線（武雄温泉―長崎）が開業することに伴い、新幹線開業後の長崎本線（肥前山口―諫早）は、『上下分離方式』（JRが運行し、鉄道施設は佐賀県・長崎県が保有）による運行となります。

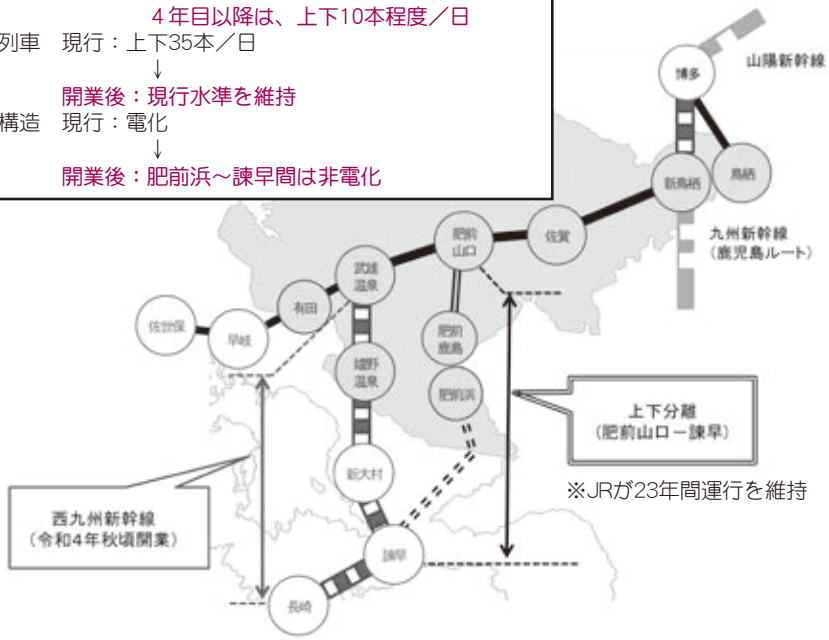
これは、平成１９年の『三者基本合意』、平成２８年の『六者合意』で定められたもので、主な合意内容等は右記のとおりです。

通勤や通学、観光、ビジネス等で多くの皆様が利用されている長崎本線について、上下分離後も少しでも『サービスレベル（利便性）を確保』するために、鹿島市では、本年度、国やJR九州に対し、次のような要望を行っています。

特急列車　現行：上下45本程度／日
↓
開業後：３年間は、上下14本程度／日
４年目以降は、上下10本程度／日

普通列車　現行：上下35本／日
↓
開業後：現行水準を維持

線路構造　現行：電化
↓
開業後：肥前浜～諫早間は非電化



主な要望内容（R3.10.29 国土交通省九州運輸局に対する意見陳述、R3.11.10 JR九州に対する要望）

（特急列車）

上下分離後は特急列車が大幅に減少するが、特急列車は、通勤・通学だけではなく、観光やビジネスなどでも利用されており、地域を支える重要な交通手段であるため、朝夕の通勤・通学利用者はもちろんのこと、観光客やビジネス利用者などのニーズにも配慮したダイヤ編成を。

（普通列車）

朝夕の通勤・通学時間帯における佐賀方面との直通運行を確保するとともに、乗換負担や乗換時の利便性に配慮した運行を。また、博多方面とのアクセスが低下しないよう、肥前山口駅における特急列車との円滑な接続を。

今後も、佐賀県や沿線市町と連携し、利便性の確保に向け取り組んでまいります。
また、より多くの方に長崎本線を利用してもらうことも、今後の利便性確保の点において大切です。
皆さま、長崎本線をぜひご利用ください。

詳しくは　企画財政課　☎０９５４（６３）２１０１

No. 295

学校だより

鹿島高校

『鹿高祭』

体育祭で総合優勝した青団

９月３日・４日に学校祭を開催しました。昨年、新設鹿島高校の生徒が３学年揃ったことを機に『鹿高祭』と名称を改め、今年で２回目の『鹿高祭』となりました。

３日の文化祭では、赤門学舎の体育館で吹奏楽部の演奏や個人発表のダンス等のステージパフォーマンスを行い、武道場や渡り廊下などではクラスや文化部の展示を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、ステージパフォーマンスは各クラスの教室でリモート視聴となりましたが、クラスや文化部の展示は、鑑賞する時間を学年ごとに設定することで、直接見て楽しむことができました。

４日の体育祭は、赤門学舎グラウンドで行いました。昨年は、新型コロナウイルス感染症対策として蟻尾山公園内の鹿島市陸上競技場で開催しましたので、『鹿高祭』の体育祭としては初の校内開催となりました。しかしながら、今年も感染症対策として、無観客および時短での開催とさせていただきました。いろいろな制限の中で準備や練習を進めることになりましたが、当日は晴天に恵まれ、その成果を遺憾なく発揮した体育祭となりました。